

先週末までのマーケット動向(5月23日～5月27日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,271.5	1,271.5	1,252.7	1,256.2	▲11.9
JPY/KRW	9.9421	9.9836	9.8505	9.9003	▲0.018
KOSPI	2,651.63	2,653.87	2,602.01	2,638.05	▲1.24

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は続落した。20日海外時間の米株の大幅な下落を受けて23日のドル/ウォンは1,271.5ウォンでオープン。週前半はバイデン米大統領が対中関税の引き下げを検討しているとの報道により人民元高が進むとドル/ウォンは下落したものの、その他は特段目新しい材料に乏しく、狭いレンジでもみあう展開となった。26日のBOK会合では市場の予想通り政策金利引き上げ(1.50%→1.75%)が決定されるも織り込み済みであったことからドル/ウォンへの影響は限定的。一方で25日発表の米FOMC議事録にて50bpを超える利上げの可能性に言及がなかったことに加え、週末にかけて堅調な米企業決算を受けて米株が上昇するなどリスクセンチメントが良好となる中、ドル/ウォンは1,260ウォンを下抜けると、一時1,252.7ウォンまで下落した。引けにかけては下げ幅をやや縮小し、結局、先週末対比11.9ウォン下落した1,256.2ウォンでクローズ。

今週の見通し

今週のドル/ウォンは上値の重い展開を予想する。26日のBOK会合では8月以降に50bpの利上げを示唆する等、インフレ抑制を経済成長以上に重要視する姿勢が改めて示された。一方で、米FOMC議事録ではインフレと経済成長の両立を意識すべく、年後半の利上げ局面終了の可能性にも触れており、ドル買いが収まる要素となっている。さらに9日にはECB理事会もある中、市場では米国以外の利上げが注目され続けるのではなかろうか。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1240 ~ 1270	9.70 ~ 10.05	126.2 ~ 128.2

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 30日(月) 欧 5月 消費者信頼感指数 確報値
- 31日(火) 日 4月 鉱工業指数 速報値
 - 中 5月 製造業PMI
 - 中 5月 非製造業PMI
 - 日 4月 失業率
 - 米 5月 カンファレンスボード消費者信頼感指数
- 1日(水) 欧 5月 製造業PMI 確報値
 - 米 5月 製造業PMI 確報値
 - 米 5月 ISM製造業景況指数
- 2日(木) 米 5月 ADP雇用統計
 - 米 4月 耐久財受注 確報値
 - 米 4月 製造業受注
- 3日(金) 米 5月 非農業部門雇用者数
 - 米 5月 失業率
 - 欧 5月 サービス業PMI 確報値
 - 米 5月 サービス業PMI 確報値
 - 米 5月 ISM非製造業景況指数
 - 韓 5月 CPI